



## 2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月7日

上場会社名 美津濃株式会社 上場取引所

コード番号

8022

代表取締役社長

水野 明人 (氏名)

URL https://corp.mizuno.com/jp

表 者 問合せ先責任者

代

(役職名) (役職名)

執行役員経理財務担当 (氏名) 村上 喜弘

(TEL) 06-6614-8465

半期報告書提出予定日

決算説明会開催の有無

2025年11月10日

配当支払開始予定日

2025年12月1日

決算補足説明資料作成の有無

:有

: 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		売上高 営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	126, 508	5.8	12, 011	7. 7	12, 722	12. 5	9, 876	22. 0
2025年3月期中間期	119, 613	4. 5	11, 151	20.0	11, 308	7. 2	8, 097	4. 1
()+\	- #n _L 00 #n	0 407-	- H / A 00 00/	\ 00	OC - 0 - 1111	DD#D 1/	004	47.00

(注)包括利益 2026年3月期中間期 8,487百万円(△30.9%) 2025年3月期中間期 12,284百万円(△7.0%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円銭	円銭
2026年3月期中間期	128. 68	_
2025年3月期中間期	105. 54	_

(注)2025年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期 の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり中間純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

		総資産		純資産		自己資本比率	
2026年3月期中	間期		百万円 221, 478		百万円 163, 338		% 73. 4
2025年3月期			218, 479		157, 121		71. 6
(参考) 自己資本	2026年3	月期中間期	162, 515	百万円	2025年3	月期	156, 348百万円

# 2. 配当の状況

		年間配当金							
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計				
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円銭				
2025年3月期	_	60.00	_	90.00	150. 00				
2026年3月期	_	25. 00							
2026年3月期(予想)			_	25. 00	50. 00				

<sup>(</sup>注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無

#### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	(/0数///05/ // // // // // // // // // // // // /								
	売上高	5	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260, 000	8. 2	22, 500	8. 3	23, 000	7.7	16, 500	8. 2	215. 02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無

<sup>(</sup>注)2025年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期 については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

#### ※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更

新規 一社(社名)

、除外 一社(社名)

:無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4)中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

## (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)2026年3月期中間期79,734,729株2025年3月期79,734,729株② 期末自己株式数2026年3月期中間期2,949,844株2025年3月期2,996,730株③ 期中平均株式数(中間期)2026年3月期中間期76,755,252株2025年3月期中間期76,725,198株

(注)2025年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると 判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1.	経営成績等の概況	. 2
	(1) 当中間期の経営成績の概況	. 2
	(2) 当中間期の財政状態の概況	. 3
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	. 3
2.	中間連結財務諸表及び主な注記	. 4
	(1) 中間連結貸借対照表	. 4
	(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	. 6
	(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	. 8
	(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	. 9
	(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	. 9
	(セグメント情報等)	. 9
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	.10
	(継続企業の前提に関する注記)	.10

#### 1. 経営成績等の概況

#### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善により、緩やかな回復傾向が見られたものの、物価上昇圧力や米国通商政策が及ぼす消費の下振れリスクに対する懸念が広がりました。海外経済も緩やかな回復傾向にありましたが、米国通商政策や、地政学的緊張などにより、先行きの不透明感が見られました。

このような状況の中、当社グループは、国内においては、フットボールやバレーボール等の競技スポーツ品や、ワークビジネスやスポーツスタイルシューズの売上が好調に推移しました。海外においてはゴルフに加え、成長分野と位置付けるフットボール、ランニングや、スポーツスタイルシューズの販売が伸長しました。

これらの結果、当社グループの経営成績は、売上高は68億9千4百万円増収(前年同期比5.8%増)の1,265億8百万円、営業利益は8億5千9百万円増益(前年同期比7.7%増)の120億1千1百万円、経常利益は14億1千3百万円増益(前年同期比12.5%増)の127億2千2百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は17億7千9百万円増益(前年同期比22.0%増)の98億7千6百万円と、いずれも中間連結会計期間として過去最高の結果となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 日本

日本は、フットボールやバレーボール等の競技スポーツ品や、非スポーツ分野であるワークビジネスやスポーツスタイルシューズの売上が好調に推移しました。ワークビジネスにおいてはスポーツ用品開発で培った機能を搭載したシューズやアパレルが評価され、個人向け、企業向け共に販売が拡大しました。

この結果、売上高は31億7千5百万円増収(前年同期比4.5%増)の734億6千8百万円、営業利益は12億8千1百万円増益(前年同期比21.5%増)の72億3千3百万円となり、いずれも中間連結会計期間として過去最高となりました。

#### ② 欧州

欧州は、主力カテゴリーであるランニング、ゴルフや、スポーツスタイルシューズの販売が好調に推移したものの、物流コストの上昇などにより利益が下押しされました。

この結果、売上高は17億6千3百万円増収(前年同期比14.3%増)の141億8百万円で過去最高の結果となったものの、営業利益は3億1千5百万円減益(前年同期比49.7%減)の3億2千万円となりました。

なお、当中間連結会計期間における欧州各通貨の換算レートは以下のとおりであります。

英ポンド:193.71円(前年同期 195.55円)、 ユーロ:162.59円(前年同期 164.82円)、

ノルウェークローネ:13.92円(前年同期 14.35円)

#### ③ 米州

米州は、主力事業であるゴルフが引き続き好調に推移しました。鍛造アイアンを中心とした商品面への高い評価に加えて、カスタムフィッティングのサービス面でもユーザーから高い信頼を獲得しています。

この結果、売上高は3億4千8百万円増収(前年同期比1.7%増)の208億1千5百万円、営業利益は5百万円増益 (前年同期比0.2%増)の23億4千1百万円と、いずれも中間連結会計期間として過去最高となりました。

なお、当中間連結会計期間における米州各通貨の換算レートは以下のとおりであります。

米ドル:148.99円(前年同期 152.30円)、カナダドル:105.31円(前年同期 112.40円)

#### ④ アジア・オセアニア

アジア・オセアニアは、成長分野と位置付けるランニング、フットボール、スポーツスタイルシューズの販売が伸長しました。一方で韓国ゴルフ市場の停滞により韓国でのゴルフの収益性が低下しました。

この結果、売上高は16億6百万円増収(前年同期比9.7%増)の181億1千6百万円で過去最高の結果となったものの、営業利益は1億7千5百万円減益(前年同期比7.7%減)の21億1千2百万円となりました。

なお、当中間連結会計期間におけるアジア・オセアニア各通貨の換算レートは以下のとおりであります。

台湾ドル: 4.69円(前年同期 4.78円)、香港ドル: 19.11円(前年同期 19.47円)、

中国元:20.53円(前年同期 21.08円)、豪ドル:94.19円(前年同期 100.61円)、

韓国ウォン(100ウォンあたり):10.42円(前年同期 11.28円)、

米ドル (シンガポール):148.99円(前年同期 152.30円)、

タイバーツ: 4.44円 (前年同期 4.22円)

#### (2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ29億9千8百万円増加し、2,214億7千8百万円となりました。商品及び製品が24億7千8百万円、売掛金が24億3千9百万円それぞれ減少した一方、投資有価証券が41億2千7百万円、現金及び預金が32億5千9百万円それぞれ増加したことが主な要因です。

負債は、前連結会計年度末に比べ32億1千7百万円減少し、581億4千万円となりました。支払手形及び買掛金が27億3百万円、未払金及び未払費用が17億2千2百万円、それぞれ減少したことが主な要因です。

純資産は、前連結会計年度末に比べ62億1千6百万円増加し、1,633億3千8百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の71.6%から73.4%へと1.8ポイント増加しました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32, 399	35, 658
受取手形	4, 640	4, 401
売掛金	46, 081	43, 641
商品及び製品	50, 743	48, 265
仕掛品	680	995
原材料及び貯蔵品	6, 701	5, 239
その他	6, 876	9, 069
貸倒引当金	△702	△749
流動資産合計	147, 421	146, 522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	17, 107	17, 017
土地	14, 149	13, 818
その他(純額)	8, 488	8, 273
有形固定資産合計	39, 744	39, 108
無形固定資産		
のれん	852	798
その他	5, 332	5, 599
無形固定資産合計	6, 185	6, 397
投資その他の資産		
投資有価証券	9, 569	13, 697
繰延税金資産	1, 591	1, 543
退職給付に係る資産	11, 615	11,879
その他	2, 631	2, 610
貸倒引当金	△280	△280
投資その他の資産合計	25, 127	29, 449
固定資産合計	71, 058	74, 956
資産合計	218, 479	221, 478

(単位:百万円)

	前連結会計年度	( <u>単位:日万円)</u> 当中間連結会計期間
	(2025年3月31日)	(2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16, 166	13, 462
短期借入金	2, 056	2, 288
1年内返済予定の長期借入金	3, 828	2, 828
未払金及び未払費用	14, 574	12, 852
未払法人税等	2, 586	3, 144
その他	3, 357	4, 134
流動負債合計	42, 571	38, 710
固定負債		
長期借入金	7, 608	8, 410
繰延税金負債	3, 189	3, 347
再評価に係る繰延税金負債	1, 785	1, 705
退職給付に係る負債	568	616
資産除去債務	300	301
その他	5, 334	5, 048
固定負債合計	18, 786	19, 429
負債合計	61, 358	58, 140
純資産の部		
株主資本		
資本金	26, 137	26, 137
資本剰余金	31, 921	32, 013
利益剰余金	83, 118	90, 875
自己株式	△1,864	△1, 836
株主資本合計	139, 311	147, 189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3, 504	4, 306
繰延ヘッジ損益	391	$\triangle 40$
土地再評価差額金	△353	△536
為替換算調整勘定	11, 264	9, 475
退職給付に係る調整累計額	2, 229	2, 121
その他の包括利益累計額合計	17, 036	15, 325
非支配株主持分	772	822
純資産合計	157, 121	163, 338
負債純資産合計	218, 479	221, 478

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 中間連結損益計算書

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日
	至 2024年9月30日)	至 2025年9月30日)
売上高	119, 613	126, 508
売上原価	70, 222	73, 743
売上総利益	49, 391	52, 764
販売費及び一般管理費	38, 239	40, 753
営業利益	11, 151	12, 011
営業外収益		
受取利息	77	86
受取配当金	145	315
為替差益	-	361
その他	169	158
営業外収益合計	392	921
営業外費用		
支払利息	82	120
為替差損	94	_
その他	59	90
営業外費用合計	235	210
経常利益	11, 308	12, 722
特別利益		
固定資産売却益	40	657
投資有価証券売却益	2	-
特別利益合計	43	657
特別損失		
固定資産除却損	11	1
特別損失合計	11	1
税金等調整前中間純利益	11, 340	13, 378
法人税等	3, 129	3, 380
中間純利益	8, 210	9, 998
非支配株主に帰属する中間純利益	113	121
親会社株主に帰属する中間純利益	8, 097	9, 876

### 中間連結包括利益計算書

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	8, 210	9, 998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	801
繰延ヘッジ損益	△582	△431
為替換算調整勘定	4, 706	$\triangle 1,772$
退職給付に係る調整額	△109	△108
その他の包括利益合計	4, 073	△1, 510
中間包括利益	12, 284	8, 487
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	12, 127	8, 348
非支配株主に係る中間包括利益	156	139

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	(単位:百万円) 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	=======================================	<u> </u>
税金等調整前中間純利益	11, 340	13, 378
減価償却費	1, 444	1,724
のれん償却額	52	48
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△302	△164
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△90	43
受取利息及び受取配当金	△223	$\triangle 402$
支払利息	82	120
投資有価証券売却損益(△は益)	$\triangle 2$	-
固定資産売却損益(△は益)	$\triangle 40$	△657
固定資産除却損	11	1
売上債権の増減額(△は増加)	5, 827	2,070
棚卸資産の増減額(△は増加)	3, 156	2, 530
仕入債務の増減額(△は減少)	△7, 172	△2, 528
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△1,534	△1, 376
その他	△460	△812
小計	12, 088	13, 975
利息及び配当金の受取額	222	402
利息の支払額	△80	△115
法人税等の支払額	△4, 105	△2, 863
営業活動によるキャッシュ・フロー	8, 125	11, 398
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1, 146	△1, 446
有形固定資産の売却による収入	123	80
無形固定資産の取得による支出	△532	△489
投資有価証券の取得による支出	$\triangle 0$	△3, 146
短期貸付金の純増減額(△は増加)	242	24
関係会社株式の売却による収入	3	-
その他	△88	103
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1, 399	△4, 874
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	146	244
長期借入れによる収入	-	1,000
長期借入金の返済による支出	△314	△1, 164
自己株式の売却による収入	-	0
自己株式の取得による支出	△10	$\triangle 1$
配当金の支払額	△2, 167	△2, 296
非支配株主への配当金の支払額	△77	△89
リース債務の返済による支出	△135	△277
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2, 558	△2, 584
現金及び現金同等物に係る換算差額	1, 369	△680
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5, 537	3, 259
現金及び現金同等物の期首残高	31, 963	32, 399
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		_
現金及び現金同等物の中間期末残高	37, 545	35, 658

### (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

### 税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の 実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (セグメント情報等)

- I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						
	日本	欧州	米州	アジア・ オセアニア	計		
売上高							
外部顧客に対する売上高	70, 292	12, 344	20, 466	16, 509	119, 613		
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3, 291	_	13	1, 872	5, 177		
計	73, 583	12, 344	20, 480	18, 382	124, 791		
セグメント利益	5, 952	635	2, 335	2, 288	11, 211		

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	11, 211
セグメント間取引消去及びその他の調整額	△60
中間連結損益計算書の営業利益	11, 151

- Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
  - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				
	日本	欧州	米州	アジア・ オセアニア	計
売上高					
外部顧客に対する売上高	73, 468	14, 108	20, 815	18, 116	126, 508
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3, 463	_	7	1, 710	5, 182
計	76, 931	14, 108	20, 823	19, 827	131, 690
セグメント利益	7, 233	320	2, 341	2, 112	12, 007

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	12, 007
セグメント間取引消去及びその他の調整額	4
中間連結損益計算書の営業利益	12, 011

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。